

常識

じょうしき

わたしのうちに今、ブラジルのアナさんがホームステイしています。アナさんがかぜをひいたとき、母は「かぜなんだから、シャワーを浴びたり、お風呂に入ったりしたらだめよ。」と言いました。アナさんは「どうしていけないかわかりません。病気のときは清潔が大切だし、わたしのうちでは熱が下がるようにシャワーを浴びたり、ぬるいお湯に入ったりします。」と言いました。それを聞いて、わたしたちはびっくりしました。熱があったり、かぜをひいたりしているときは、お風呂に入らないほうがいと信じていたからです。学校で友達に聞いてみましたが、みんな「お風呂は入らないほうがいいと思う。」と言いました。どうしてそう思うか、聞きました。「常識だよ。子どものときから、いつも言われたよ。」わたしはどうしてそんな常識ができたか、調べてみました。



昔、日本の家は冬とても寒かったので、熱いお風呂に肩まで入って体を温める習慣ができました。熱いお風呂は気持ちがいいですが、長く入ると、疲れます。体の調子が悪いとき、お風呂に入ると、病気がひどくなります。それで、かぜのときや熱があるときは、お風呂に入らない

けないと思うようになりました。今は家の中も暖かいし、シャワーもあるし、ほとんど問題はありますが、昔の常識のとおりになっている人が多いのです。

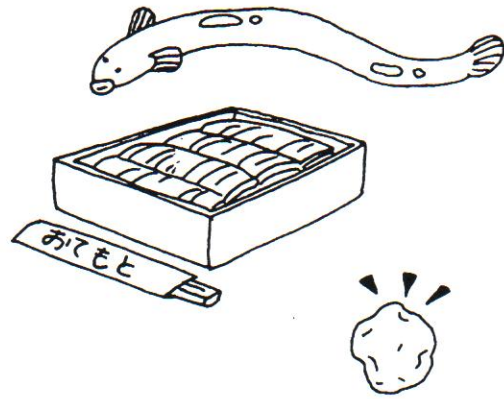
おお

食べ物について昔から言われている

常識もあります。「うなぎと梅干し」

「すいかとてんぷら」などはいっしょに食べると、おなかをこわすと言われ

ています。医学的に正しいものはほとんどないのですが、多くの人はまだ信じています。



生活が変わっても、昔の常識をそのまま信じているのは変です。時々その常識が正しいかどうか、どうしてその常識ができたか、考えてみたほうがいいでしょう。

I 正しいものに○、正しくないものに×を書いてください。

- 1) () かせのときや熱が高いとき、お風呂に入らないのは世界中の常識だ。
- 2) () 熱があるとき、ぬるいお風呂に入って、体の熱を下げようと思う人がいる。
- 3) () うなぎと梅干しをいっしょに食べても、病気にならない。
- 4) () 生活が変わっても、常識はなかなか変わらない。

II あなたの国と日本で、「常識」が違っているものがありますか。

どうして違っていると思いますか。